

ご挨拶



当協会は、全国の地下鉄事業者と地下鉄に相互乗り入れをしている鉄道事業者、更に地下鉄に関係するメーカー等を会員とし、地下鉄に関する技術や情報を会員間で共有するとともに、地下鉄が公共交通機関として都市における交通機能の充実に貢献すべく活動を行っております。

日本の地下鉄は、昭和2年(1927年)12月に東京で開業以来98年を迎えました。この間、都市の発展とともに新線の開業や既設線の延伸により、現在では、北海道から九州まで、全国12都市48路線、総延長854.7km、利用者総数は1日当たり1,672万人に達するなど、市民生活や都市活動において基幹的な公共交通機関として大きな役割を果たしております。

地下鉄は、地下走行による高速性と定時運行により、都市の交通渋滞の緩和に寄与しているほか、高度な運行システムにより、高い安全性と安定性を確保しております。また、鉄道事業以外の交通機関に比べ、二酸化炭素排出量が少なく環境にやさしいとともに、高齢者や外国人など誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインの面でも優れております。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅に減少した地下鉄輸送人員は、概ね回復したところではありますが、未だコロナ禍前の水準に達しておらず、特に定期旅客輸送人員の回復が弱い状況です。さらに、施設の老朽化や地震、頻発化・激甚化する自然災害等への対応、更なるバリアフリー化の推進など、課題は山積しております。当協会としては、引き続き、ハード・ソフト両面でのこれら課題への対策、加えて、進化する鉄道技術の導入、リニアメトロに係る課題の把握とその改善に向けた方策の検討等についても、国に要望するとともに、地下鉄事業者及び関係機関と協力して進めてまいります。

また、近年の物価上昇も、地下鉄の経営圧迫の要因の一つとなっておりますが、経営環境の変化に適切に対応し、地下鉄利用者のコロナ禍を経ての行動様式の変容を踏まえ、より経済性を発揮し、地下鉄事業者の経営基盤の強化に向けた取組を支援してまいります。

今後とも、安全・安心、快適・便利、人にも環境にもやさしく皆様に愛される交通機関として、より多くのお客様にご利用していただけるよう邁進していく所存でございますので、皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月

一般社団法人 日本地下鉄協会

会長 **小坂 彰 洋**

(東京地下鉄株式会社 代表取締役社長)